

DL05 エラーコード	説明
E 003 エンジン タイムアウト	プログラム実行スキャンが、設定されたウォッチドグタイマを超えたとき、エラーになります。SP51がONし、エラーコードがR7755に格納されます。 メニュー55のウォッチドグタイマ設定メニューを使って、ウォッチドグタイマ値を長めに変更してください。
E 004 サブ CPU パリティエラー	CPUが命令コードを実行しようとするとき、パリティエラーを検出。ノイズなどによる誤動作によりプログラムメモリが変化した場合に発生します。 プログラム・メモリをクリアにして、再びプログラムをダウンロードしてください。
E 043 MCデンチ デンアツテイカ	CMOSRAMカートリッジのバッテリーが低下。電池を交換してください。
E 104 MCカキコミ エラー	CPUへの書き込みに失敗。電源を落とし、CPUからカートリッジを取り外して、EEPROMがプロテクトなしの状態にジャンパを換えてください。もし、プロテクトがかかっているならば、別のカートリッジを使ってください。それでもだめであれば、CPUを交換してください。
E 151 パリティ エラー	アプリケーションプログラムでパリティエラーを検出。SP44がONし、エラーコードがR7755に格納されます。これはノイズが原因かもしれません。メモリをクリアして、再びプログラムをダウンロードしてください。グラウンド配線も検討してください。再度エラーが発生するようであれば、CPUを交換してください。
E 311 ツウシン エラー 1	HPPからの要求に対して、CPUが応答しない。エラーメッセージをクリアして、再試行してください。エラーが頻繁におこるようであれば、CPUを交換してください。 SP46がONし、エラーコードがR7756に格納されます。
E 312 ツウシン データ エラー	CPUとの通信で、データエラーを検出。エラーメッセージをクリアして、再試行してください。エラーが頻繁におこるようであれば、CPUとHPPの接続ケーブルをチェック、HPPを交換、CPUを交換などを行ってください。エラーコードはR7756に格納されます。
E 313 アドレスエラー	CPUとの通信で、アドレスエラーを検出。エラーメッセージをクリアして、再試行してください。エラーが頻繁におこるようであれば、CPUとHPPの接続ケーブルをチェック、HPPを交換、CPUを交換などを行ってください。エラーコードはR7756に格納されます。
E 316 モードエラー	CPUとの通信で、モードエラーを検出。エラーメッセージをクリアして、再試行してください。エラーが頻繁におこるようであれば、CPUとHPPの接続ケーブルをチェック、HPPを交換、CPUを交換などを行ってください。エラーコードはR7756に格納されます。
E 320 ツウシンタイムアウト	CPUが、HPPの通信要求に対して返答を返さない。ケーブルに問題がないことを確認してください。エラーが頻繁に起こるようであれば、まずCPUを交換してみて、それでもエラーが起こるようであれば、HPPを交換してください。
E 321 ツウシン エラー	CPUとの通信で、データエラーを検出。ケーブルに問題がないことを確認してください。エラーが頻繁に起こるようであれば、まずCPUを交換してみて、それでもエラーが起こるようであれば、HPPを交換してください。

HPP : 命令語プログラマ

DL05 エラーコード	説明
E 360 ツウシンタイムアウト	HPPの要求にたいして、パソコンなどの周辺機器から応答がない。 ケーブルに問題がないことを確認してください。周辺機器がHPPが不良かもしれません。
E 4** プログラム エラー	アプリケーションプログラムに文法エラーを検出。最も一般的なものは、END命令が抜けています。メニュー21を実行して、どこがエラーか見つけてください。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 401 ENDメイレイ ナシ	すべてのアプリケーションプログラムにはEND命令が必要です。適切な位置にEND命令を書いてください。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 402 ラベル ミテイギ	MOVMCやLDLBL命令で使われたラベルが定義されていない。これらの命令の詳細については、第5章を参照してください。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 403 CENDメイレイ ナシ	サブルーチンのENDであるRET命令がない。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 404 FORメイレイ ナシ	NEXT命令に対応するFOR命令がない。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 405 NEXTメイレイ ナシ	FOR命令に対応するNEXT命令がない。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 406 IENDメイレイ ナシ	割込みルーチンのENDであるIEND命令がない。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 412 ラベルオーバー	プログラム中で、64個以上のGLBLかDLBL命令が使われている。また、2つ以上のILBL命令が使われているときもこのエラーが出ます。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 421 ステージ ジュフク	アプリケーションプログラム中に、同じステージ番号を2個以上使ったSGやISG命令が存在している。SGやISG命令で宣言するステージ番号には、同じ番号は使えません。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 422 ラベル ジュウフク	LBL命令で2つ以上の同じ番号が存在している。重複しないラベル番号に変更してください。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 423 FORジュウフク	ネスティング（FOR/NEXTループの中に別のFOR/NEXTを書く）はできません。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 431 ステージ イチエラー	END命令の後にSG、ISG命令が書かれている。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。

HPP : 命令語プログラマ

DL05 エラーコード	説明
E 433 CLBL イチエラー	CLBL命令は、メインルーチンや、割込みルーチン内に書くのではなく、END命令の後ろに書かなければいけません。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 434 RET イチエラー	RET命令は、メインルーチンや、割込みルーチン内に書くのではなく、END命令の後ろに書かなければいけません。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 435 CEND イチエラー	CEND命令は、メインルーチンや、割込みルーチン内に書くのではなく、END命令の後ろに書かなければいけません。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 436 ILBL イチエラー	INT命令は、メインルーチン内に書くのではなく、END命令の後ろに書かなければいけません。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 437 RETI イチエラー	RETI命令は、メインルーチン内に書くのではなく、END命令の後ろに書かなければいけません。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 438 IEND イチエラー	IEND命令は、メインルーチン内に書くのではなく、END命令の後ろに書かなければいけません。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 440 DLBL イチエラー	DLBL命令がメインプログラム領域（END命令の前）にあるか、またはDLBL命令に接点が付いている。
E 441 データブン エラー	ACONやNCON命令は、メインルーチン内に書くのではなく、END命令の後ろに書かなければいけません。SP52がONし、エラーコードがR7755に格納されます。
E 451 マスタライン ミス	MLS命令は1から昇順で番号付けされなければいけません。
E 453 タイマ/カウンタ ヌケ	タイマやカウンタの接点命令はあるが、タイマやカウンタ命令がありません。
E 454 ATMR ジョウケンヌケ	ATMR命令で必要な条件(接点)が足りません。
E 455 カウンタ ジョウケンヌケ	CNTやUDC命令で必要な条件(接点)が足りません。
E 456 SR ジョウケンヌケ	SR命令で必要な条件(接点)が足りません。

HPP : 命令語プログラマ

DL05 エラーコード	説明
E461 スタック オーバー	9つ以上のLDレベルがスタックに格納された。OR LDとAND LD命令の数をチェックしてください。
E462 スタック アンダー	スタックに格納されたLDレベルの数が合っていない。LD命令の数とOR LD、AND LD命令の数をチェックしてください。
E463 ロジック エラー	ラダー回路の先頭がLD命令で始まっていない。
E464 カイロ ミカンセイ	ラダー回路が正しく終わっていない(コイルがない)。
E471 コイル ジュウフク	同じ機能メモリに対して、2つ以上のOUT命令が使われている。
E472 タイマ ジュウフク	同じタイマ番号に対して、2つ以上のTMR命令が使われている。
E473 カウンタ ジュウフク	同じカウンタ番号に対して、2つ以上のCNT命令が使われている。
E499 プリント命令	PRINT命令の使い方が間違っている。クォーテーションやスペースが入っていなかったり、適切に入っていない。

HPP : 命令語プログラマ

DL05 エラーコード	説明
E 501 ソウサテジュン ミス	操作キーを押すまでの操作手順が間違っています。
E 502 シテイバンチ ミス	存在しないプログラムメモリアドレスを指定しています。
E 503 メイレイ セツテイ ミス	存在しない命令を設定しています。
E 504 スウチ セツテイ ミス	無効な数値を設定しています。
E 505 ミタイオウ メイレイ	無効な命令を設定しています。
E 506 ミタイオウ ソウサ	無効な操作を選択しています。
E 520 モード RUN	RUNモードでは無効な操作が選択されました。
E 521 モード TEST-R	TEST RUNモードでは無効な操作が選択されました。
E 523 モード TEST-S	TEST プログラムモードでは無効な操作が選択されました。
E 524 モード STOP	プログラムモードでは無効な操作が選択されました。
E 525 キーモード ミス	CPUのモードSWがTERMの位置でないところで、操作が選択されました。
E 526 OFF LINE	HPPがOFF LINEモード。ON LINEモードに変えるには、モードキーを使ってください。
E 527 ON LINE	HPPがON LINEモード。OFF LINEモードに変えるには、モードキーを使ってください。
E 528 CPU MODE	RUN中書き換えの操作を行いました。
E 540 パスワード クローズ	パスワードがロックの状態。アンロックするには、メニュー-82を使ってパスワードを入れてください。
E 541 パスワード フィッチ	アンロックするために、メニュー-82で入力したパスワードが不正確でした。
E 542 パスワード イジョウ	電源ON時のパスワードチェックで、異常なパスワードを検出したので、00000000にパスワードをリセットしました。メニュー-81を使って、再度パスワードを登録してください。
E 601 カキコミ ヨチ ナシ	命令を追加するプログラムメモリ領域が、もうありません。
E 602 ケンサク メイレイ ナシ	命令を検索したが、所定の命令が存在しません。

HPP : 命令語プログラマ

DL05 エラーコード	説明
E 603 ケンサク データ ナシ	データを検索したが、所定のデータが存在しません。
E 604 ケンサク バンゴウ ナシ	番号検索をしたが、所定の番号が存在しません。
E 620 MC ヨウリョウ フソク	CPUとHPP間で転送を行う操作の際、受け側よりも、送り側のほうが容量が大きい。
E 621 MC ミショウキョ	HPPに装着されたEEPROMに未消去のエリアがありました。EEPROMを消去して、再度書込みを行ってください。
E 622 MC ミソウチャク	HPPにEEPROMが装着されていません。
E 624 MC データREG	V-メモリの情報が記録されているEEPROMがHPPに装着されています。
E 625 MC プログラム	ラダープログラムの情報が記録されているEEPROMがHPPに装着されています。
E 627 MC カキコミ フリョウ	HPPに装着されているEEPROMに書込み操作を行った際、ライト・プロテクトされていたのか、書き込みに失敗しました。書込みプロテクトのジャンパをチェックし、プロテクトされていない場合はEEPROMを取り替えてください。
E 628 MC タイプ フィッチ	HPPに装着されているEEPROMのサイズが不適。プログラム・サイズがHPPに装着されているEEPROMのサイズよりも大きいときに、このエラーが出ます。
E 640 MC ショウゴウ エラー	HPPに装着されたEEPROMとCPUを照合してエラー(不一致)がありました。

HPP : 命令語プログラマ